



健生会のなかまの奮闘

健生会、地域保健企画、三多摩福祉会、健生会労働組合、三多摩健康友の会で構成される健生会五者共闘会議は、6月12日の会議で宇都宮さん推薦を決め、連日力強い取り組みをすすめています。

これまでに独自のニュースを6号発行しています。

17日には集いを開催し、密を避けながら約40人が参加、冒頭挨拶に立った高橋院長は、「コロナ禍で病院は大変なことになっている、宇都宮さんの勝利で医療崩壊を食い止めよう」と訴えました。

18日、五者共闘都知事選挙スタート集会を開催し、各団体からの報告を受け、「都知事選挙取り組みのお願い①都政について知ろう、②都政について意見を出そう、③7月5日の都知事選に投票に行こう、④五者共闘メールニュースの発行、⑤活動カンパにご協力を。の5項目を確認しました

20日、西多摩圏域の決起集会を行い、青梅・奥

多摩、秋流、多摩川の3圏域の代表と羽村相互診療所員が参加し、西多摩圏域での都知事選の取り組みの意思統一を行いました。

20日の立川駅頭宣伝、27日の宇都宮さんの立川駅頭宣伝には、健生会から医療現場の状況と要求をを踏まえて応援演説に立っています。

五者共闘では「選択するのは私たちです」の『宇都宮さんのコロナ対策は？』『都立病院の独立行政法人化って何？』などがわかるパワーポイント資料や「選挙に行こう一言カード」などを作成して、職員への声かけを強めています。

この間、五者共闘として立川相互病院門前や錦町などで、宣伝・アピール、職員への声かけ行動を行っています。



選挙に行こう一言カード

労働者のスタンディングに次々反応・民青の仲間も合流

立川駅頭で連日行われている三多摩労連・立川労連のスタンディングにさまざまな反応が寄せられています。

30日、政治家のことなど知識豊富な70台の男性から話しかけられました。「都知事選挙でまともな候補者は宇都宮だけだ」としばらく立ち話。

1日の宣伝では、70台の女性の方から「土曜日の宇都宮さんの話を聞いたけど、宇都宮さんは地味ではなく地道な人だと思った」との声が…。

メガホンの訴えに拍手しながら通り過ぎる人、手を振っていく人などもありました。

1日の宣伝には民青の仲間も宇都宮さんの政策「時給1500円」「学費半額」のシール投票ボードを持って合流。

呼びかけにこたえて、主に高校生が次々にシール投票に応じました。

「投票権はないけど」とシール投票に参加する人、

「進学的时候は学費のことを考える」という声、「1500円メッチャイイ!!」という反応もあり対話が弾んでいました。

1つ貼られていた反対のシールに「なんで反対するのか気になる」との声もあったそうです。

最終盤にむけ、有権者の関心の高まりを感じるスタンディングになりました。

